

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公開番号】特開2006-87758(P2006-87758A)

【公開日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-278677(P2004-278677)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月26日(2007.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の識別情報を連ねた識別情報列を表示する識別情報表示領域を備えるとともに、この識別情報表示領域は、所定の順序で回転する複数の識別情報列が停止した状態において複数の識別情報列の一部で大当たり状態が出現可能な複数の大当たり形成領域で構成されてなる識別情報表示装置を備えた遊技機において、

少なくとも2つの大当たり形成領域で一部が重複し、かつ、重複している大当たり形成領域の識別情報列のうち最後から2番目に停止するリーチ決定識別情報列が停止した場合に、各大当たり形成領域でリーチとなる可能性がある第1のリーチ発生条件を検出する検出手段と、

上記検出手段の検出結果に応じて、識別情報表示装置に、上記リーチ決定識別情報列がそれ以前に停止する識別情報列に比してゆっくり回転した後に停止する停止表示パターンの表示を行わせる識別情報列表示制御手段と、
を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

上記検出手段は、第1のリーチ発生条件に加えて、識別情報列をゆっくり回転させた後に停止されることによりリーチとなる可能性がある大当たり形成領域以外の他の大当たり形成領域でリーチ状態となる第2のリーチ発生条件を検出し、第1のリーチ発生条件及び第2のリーチ発生条件の成立時に、上記識別情報列表示制御手段に検出信号を出力することを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

上記検出手段は、第1のリーチ発生条件に加えて、1回の変動で最大3以上のリーチを形成しうる場合に3以上のリーチとなる可能性がある第3のリーチ発生条件を検出し、第1のリーチ発生条件及び第3のリーチ発生条件の成立時に、上記識別情報列表示制御手段に検出信号を出力することを特徴とする請求項1記載の遊技機。